

○給水装置の構造及び材質の基準に係る試験（平成9年厚生省告示第111号）

（下線の部分は改正部分）

改正後		改正前	
給水装置の構造及び材質の基準に係る試験		給水装置の構造及び材質の基準に係る試験	
第1 (略)		第1 (略)	
第2 省令第2条第1項に規定する浸出に関する試験は、次に定めるところによる。		第2 省令第2条第1項に規定する浸出に関する試験は、次に定めるところによる。	
1 浸出用液の調製 (略)		1 浸出用液の調製	
(1) (略)		(1) (略)	
(2) 調製方法		(2) 調製方法	
<p>ビーカーに精製水900mlを採り、有効塩素濃度0.3mg/ml次亜塩素酸ナトリウム溶液、0.04mol/l炭酸水素ナトリウム溶液及び0.04mol/l塩化カルシウム溶液を適量加えた後、精製水を加えて1lとする。</p> <p>この溶液を塩酸(1+99)及びそれを10倍希釈したもの並びに0.1mol/l水酸化ナトリウム溶液及びそれを10倍希釈したものを用いてpH調整し、水質がpH7.0(±0.1)、硬度45(±5)mg/l、アルカリ度35(±5)mg/l及び残留塩素0.3(±0.1)mg/lになるよう調製する。</p> <p>水質の確認は、次の表の左欄に掲げる事項について、同表の右欄に掲げる方法により行うものとする。</p>		<p>ビーカーに精製水900mlを採り、有効塩素濃度0.3mg/ml次亜塩素酸ナトリウム溶液、0.04mol/l炭酸水素ナトリウム溶液及び0.04mol/l塩化カルシウム溶液を適量加えた後、精製水を加えて1lとする。</p> <p>この溶液を塩酸(1+99)及びそれを10倍希釈したもの並びに0.1mol/l水酸化ナトリウム溶液及びそれを10倍希釈したものを用いてpH調整し、水質がpH7.0(±0.1)、硬度45(±5)mg/l、アルカリ度35(±5)mg/l及び残留塩素0.3(±0.1)mg/lになるよう調製する。</p> <p>水質の確認は、次の表の左欄に掲げる事項について、同表の右欄に掲げる方法により行うものとする。</p>	
pH値	ガラス電極法	pH値	ガラス電極法
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	フレイム—原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法(以下「ICP法」という。)、 <u>誘導結合プラズマ—質量分析法</u> (以下「ICP—MS法」という。)、イオンクロマトグラフ法(陽イオン)又は滴定法	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	フレイム—原子吸光光度法、誘導結合プラズマ発光分光分析法(以下「ICP法」という。)、イオンクロマトグラフ法(陽イオン)又は滴定法
(略)	(略)	(略)	(略)

2 浸出液の調製 (略)

3 分析方法

次の表の左欄に掲げる事項についての浸出液の分析は、同表の右欄に掲げる方法によるものとする。

器具試験、部品試験又は材料試験により得られた浸出液の分析値と、空試験により得られた浸出液の分析値との差を当該器具、部品又は材料の分析値とする。ただし、味及び臭気については、器具試験、部品試験又は材料試験により得られた浸出液の分析結果が空試験により得られた浸出液の分析結果と比較して異常である場合には、当該器具、部品又は材料の分析結果を異常とする。

カドミウム及びその化合物	フレイムレス—原子吸光光度法、フレイム—原子吸光光度法、ICP法又は <u>ICP—MS法</u>
(略)	(略)
シス—1, 2—ジクロロエチレン及びトランス—1, 2—ジクロロエチレン	PT—GC—MS法又はHS—GC—MS法
(略)	(略)
ナトリウム及びその化合物	フレイムレス—原子吸光光度法、フレイム—原子吸光光度法、ICP法、 <u>ICP—MS法</u> 又はイオンクロマトグラフ法
(略)	(略)

注 (略)

4 分析値の補正 (略)

2 浸出液の調製 (略)

3 分析方法

次の表の左欄に掲げる事項についての浸出液の分析は、同表の右欄に掲げる方法によるものとする。

器具試験、部品試験又は材料試験により得られた浸出液の分析値と、空試験により得られた浸出液の分析値との差を当該器具、部品又は材料の分析値とする。ただし、味及び臭気については、器具試験、部品試験又は材料試験により得られた浸出液の分析結果が空試験により得られた浸出液の分析結果と比較して異常である場合には、当該器具、部品又は材料の分析結果を異常とする。

カドミウム及びその化合物	フレイムレス—原子吸光光度法、フレイム—原子吸光光度法、ICP法又は <u>誘導結合プラズマ—質量分析法</u> (以下「 <u>ICP—MS法</u> 」という。)
(略)	(略)
<u>1, 1—ジクロロエチレン</u>	<u>PT—GC—MS法</u> 又は <u>HS—GC—MS法</u>
シス—1, 2—ジクロロエチレン	PT—GC—MS法又はHS—GC—MS法
(略)	(略)
ナトリウム及びその化合物	フレイムレス—原子吸光光度法、フレイム—原子吸光光度法、ICP法又はイオンクロマトグラフ法
(略)	(略)

注 (略)

4 分析値の補正 (略)

5 評価 (略)
第3～第8 (略)

5 評価 (略)
第3～第8 (略)